

科目名	好きをひも解く心理学		Subject	Psychology of Understanding Self & Others				
サブタイトル	好きをひも解く心理学 ～ 「好き」を通して、自己理解と他者理解を深め、＜理論＞と＜ワーク＞から心理学的アプローチを学ぶ。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	2 単位	30 時間	○		○	◎		
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	清原舞子			メールアドレス	maiko.kiyohara@skycampus.jp			
教員の略歴	美術大学卒業後、国内外にて表現活動を行う傍、バックパッカーとして 30 カ国以上を巡ってきました。また、日本舞踊師範を有し、日本文化を次代につなぐ活動としてフリーペーパー「東京文花座」の発行を通じた活動も行なってきました。さらに、「芸術と心理学」を研究テーマとして学術博士 (Ph. D) を取得し、現在は、他大学で「芸術心理学」の講義を担当し、臨床活動として精神科クリニックで芸術療法を用いた心理面接を行なっています。（臨床心理士・公認心理師）							
実践的教育	×							
オフィスアワー	授業の前後 3 0 分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
あなたの「好き」なことはなんでしょう？「好き」と思うとき、あるいは感じるとき、どんな心理的、身体的作用が働くのでしょうか。心理学とは、そんな心の働きや行動について科学的に研究する学問です。自分の「好き」を通して、自分自身への理解を深め、また、他者との共感あるいは違いを知ること、多様化する価値観への理解を深めることにつながります。本講義では、理論とワークを交互に行うことでテーマに対して多角的な理解を導き、さらに、自分自身を知る為に、心理テストやいろいろな芸術的な手法を用いて、グループワークやシェアリングを行います。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	○	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP4	学生が課題に対して自らの意見を心理学の考え方をもとに述べられるようになり、また、他者の考えを聞くことで多様な価値観や考え方を理解できる。							
DP1	学生が心理学の知識を身につけることで、日常の様々な事象に対して多角的なものの捉え方ができる。							
DP3	学生が毎授業の課題に取り組み、グループワークを通して様々な意見を交わし合うことで、他者と共同して課題を解決することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	参考文献については講義で適宜紹介します。							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
%	%	30%	%	40%	%	%	30%	%
授業参加度（グループワークやロールプレイへの関与度）（30%） コメントペーパー（30%） 最終レポート（40%） なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
コメントペーパーについては次回授業時に総括コメントを返します								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	ガイダンス	本講義の目標を理解し、以降の講義に対するイメージを持つことができる。	授業内で配布したアンケートを完成させる。	240
第 2 回	「好きをひも解く」①（理論編） 心理学は、概念を定義つけることから始まります。「好き」とはなにか？なにをもって「好き」というのか、その時どんな身体感覚が生じるのか、などグループワークを行いながら「好き」を定義していきます。	心理学の考え方に触れ、「好き」という概念について、自分たちなりの言葉で説明することができる。	自分の好きなこと、もの、人、など、「好き」をイメージして言語化してくる。	240
第 3 回	「好きをひも解く」②（ワーク編） 「趣味」や「推し」など、自分の「好き」を持ち寄り、コミュニケーションワークを行います。	「好き」を通して、自己理解を深め、また他者からの理解を得ることができ、さらにグループワークを通して他者を知ることができるとともに、なぜそうなったのか説明できる。	青年期の恋愛心理について、自分なりのイメージを言語化してくる。	240
第 4 回	「恋愛心理をひも解く」①（理論編） 青年期の恋愛心理を中心に、歴史や発達理論に触れながらその心性について検討していきます。	青年期の発達理論をもとに恋愛心理について理解し述べるができる。	発達理論をもとに、自分なりの恋愛感についての意見をまとめる。	240
第 5 回	「恋愛心理をひも解く」②（ワーク編） 恋愛に関する理論（三角理論、色彩理論、SVR 理論）を学びながら自分の恋愛感について分析します。	恋愛に関する理論を知り、自分自身について客観的に分析する目を持つことができるとともに、分析結果について説明できる。	恋愛理論と照らし合わせた、自分の恋愛分析について意見をまとめる。	240
第 6 回	「自分をひも解く」①（理論編） 自分が自分と認識するための心性について、心理学の歴史に触れながらひも解いていきます。	心理学の歴史について、その概要を知り、述べるができる。	「パーソナリティ」という概念について調べ、意見をまとめる。	240
第 7 回	「自分をひも解く」②（理論編） 類型論・特性論など様々なパーソナリティ理論を学びます。	パーソナリティ理論について理解し述べるができる。	自分の性格特性について、意見をまとめる。	240
第 8 回	「自分をひも解く」③（ワーク編） いくつかのパーソナリティ検査を行い、自分の性格傾向について触れていきます。	パーソナリティ検査を通して、自己理解を深めることができるとともに、深まった自己理解について説明できる。	パーソナリティ検査を受けて、その結果について意見をまとめる。	240
第 9 回	「自分をひも解く」④（ワーク編） 投影法である誘発線描画法を施行し、自分の無意識面に触れていきます。	投影法を通して、自己理解をさらに深めることができるとともに、深まった自己理解について説明できる。	投影法を受けた上での自己理解について意見をまとめる。	240
第 10 回	「他者をひも解く」①（ワーク編） 誘発線描画法の再構成を元に、グループワークを行い、他者理解を深めます。	投影法を通して、他者理解を深めることができるとともに、深まった他者理解について説明できる。	投影法を受けた上で、自分に対するイメージと、他者からの受けた自分へのイメージについて意見をまとめる。	240
第 11 回	「他者をひも解く」②（理論編） 人間関係論に関する諸理論を学び、他者理解を深めます。	人間関係論を通して、他者理解をさらに深めることができるとともに、深まった他者理解について説明できる。	人間関係論について、実生活と照らし合わせて自分なりの意見をまとめる。	240
第 12 回	「ココロをひも解く」① グループアートをを通して、自己理解と他者理解を深めます。	これまでの授業内容をふまえて、グループアートをを行うことで深層心理への理解を深めることができるとともに、深まった深層心理について説明できる。	グループアートワークでの体験を自分なりの言葉でまとめる。	240
第 13 回	「ココロをひも解く」② グループアートをを通して、自己理解と他者理解を深めます。	これまでの授業内容をふまえて、グループアートをを行うことで、グループ力動を体験を通して学び、説明することができる。	グループアートワークでの体験を自分なりの言葉でまとめる。	240
第 14 回	「ココロをひも解く」③ ＜ゲストスピーカー＞ プロの表現者をゲストスピーカーに迎え、「好きを仕事にすること」についての講義と、実践的なワークを行います。	プロの表現者が行うグループアートを体験し、これまでの学びをさらに統合的に理解し、自分の言葉で語るができる。	グループアートワークでの体験を自分なりの言葉でまとめる。	240
第 15 回	総復習とまとめ	振り返りを通して、言葉とイメージを用いて自己と他者の心のありようを理解し、述べるができる。	全講義を通して、「自分」へのイメージがどのように変化してか、その意見をまとめる。	240